

支部は造りた少数であり乍ら總同盟が或日未だ四五回工場
中心に大陽織物 大阪メリヤス 大阪毛織物 日本紡 津守福 玉子
等同志が合して大阪紡織労働組合を組織したのに對して
その新工場場の支部一つ共う教四十余名、を以て大阪紡織物
労働組合を組織したのであります。現在總同盟一七〇名、
大阪紡織労働組合は女工二〇〇名あると云つて居りますが、
合員一八〇名
居ります。

労働組合の原因と所謂共同戦線?

一三幾回三村家支部總會の決議に依り、労働条件(待遇改善
等)の交渉を命ぜられたに對するこゝに三村労働組合本部と共に争議行
はれ、八月十日夜職工大会を開き、三村労働組合本部と共に争議行

に提出する運に致つた。評議会の命が五回、
かやうに五回は指さく内へ見て居るなり、評議会本部の奴等が
仕方がない、が若し今度本部にやる譯がなければ評議会を看
してでも、一語にやうと意見向を示して居る。

職工大会は、前支部員に反した、か、
合、
は、
に職工大会を開きたるに對する要求事項を満場一致可決した。

- 一、連立部に員を工場場を適用された、
- 二、労働女工に外出を自由にした、(但し夜間十一時迄)
- 三、女工の強制退金制度を廃止された、
- 四、家族手当を増額された、(但し現在一倍額)
- 五、社長宿場の改善並びに寄宿場所の改善、